

事務事業名	動物死骸処理事業 ☐ 実施計画事業		所属部局	市民部		単位番号	4109									
			所属課室	環境課		課長名	深澤政樹									
			所属担当	ごみ減量推進化担当		担当者名	小笠原良仁									
基本政策	基本計画	IV	快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目					
政策	計画	20	快適生活環境の整備	事業区分	01	一般	0	4	0	2	0	2	0	2	0	6
施策	体系	33	生活環境の保全		☐ 国の制度による義務的事業	☐ 施設等維持管理事業										
					☐ 県の制度による義務的事業	☐ 補助金交付事業										
事業期間	☐ 単年度のみ	☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度)	法令根拠		一般廃棄物の処理及び清掃に関する条例											
	☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)															
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)												
	犬、猫等の死骸の処理及び火葬経費。			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)												
	土日、国民の祝日及び夜間については、業者委託。			消耗品費 15												
				手数料 1,470												
				その他委託料 1,040												
				計 2,525												

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
22年度活動実績	火葬処理依頼 職員対応 220頭 業務委託 108頭
23年度活動予定	夜間及び休日については、業務委託対応。平日の日中については、職員または、緊急雇用が収集運搬し、火葬依頼。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
事故死し、放置された動物の死骸	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
火葬する。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
道路環境の保全	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 平日処理件数	件
イ 委託による処理件数	件
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 火葬処理した動物の頭数	頭
イ	
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 火葬処理した動物の種類	種類
イ	
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 住みやすさ	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	1,913	2,158	2,337	2,336	2,336	2,336	
		事業費計 (A)	千円	1,913	2,158	2,337	2,336	2,336	2,336	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	27	30	30	30	30	30		
		人件費計 (B)	千円	120	134	119	119	119	119	0	
		(A)+(B)	千円	2,033	2,292	2,456	2,455	2,455	2,455	0	
活動指標			アイウ	件	329.0	220.0	220.0	330.0	330.0	330.0	
			件	81.0	108.0	108.0					
対象指標			アイウ	頭	410.0	328.0	328.0	330.0	330.0	330.0	
成果指標			アイウ	種類	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	
上位成果指標			アイ	%	57.5						

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併以前の旧町村時代より実施している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	鹿等のペット、家畜以外の動物の処理が増えている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特にないが、市民からの通報によって対応している。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている ⇒【内容!】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	動物の死骸処理のため、受身の事業となっている。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	特にない。

事務事業名	動物死骸処理事業	所属部	市民部	所属課	環境課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 事故等による動物の死骸処理を行い、市民感情に対応。	
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 道路等の公共の場所での処理については、市役所として対応できるが、環状線や水路等については、県等の担当部署での対応が望ましい。	
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 動物の死骸処理であり、放置は不可能。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 平日の日中の処理にかんしては、緊急雇用による職員対応としているが、平成24年度の制度廃止により業務委託などの対応が必要となる。	
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 一般廃棄物としての取扱いは一緒である。 ☒ 類似事務事業がない	
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 道路等の環境保全が保てず、市民の感情を逆なでする。	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 同左
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 類似事業の集約及び、業務委託等が可能であるか検証する。	
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 事務的な計上予算。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 市内全域の環境保全・美化に通じる。	

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	類似事業の集約によって、事務・経費とも有効活用が可能。また、緊急雇用の巡回事業での対応が望めないため、業務委託等の対応が可能か研究する。 ※外部への委託を基本とするが、委託事業が困難な場合は事業の集約をする。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
①一般廃棄物収集運搬事業として統一。 ※滝沢川クリーン事業、一般家庭可燃ごみ・不燃ごみ収集運搬事業、粗大ごみ収集運搬事業 ②緊急雇用職員が6地区を巡回し対応している。H24以降は、外部委託について検討。 ③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①予算科目の集約 ②現行の予算内での対応が可能であるか、研究する。 ③		成果優先度評価結果	⑫																					
		コスト削減優先度評価結果	⑥																					